



令和6年5月28日
海上保安庁

SAPPHIRE24 日米連携によるフィリピン沿岸警備隊等に対する能力向上支援 (結果概要)

～日米比の関係強化、FOIP の実現に向けた取組みを推進～

海上保安庁は、令和6年5月12日(日)から5月25日(土)までの間、Mobile Cooperation Team (MCT) 3名を、独立行政法人国際協力機構 (JICA) の枠組みでフィリピンに派遣し、米国沿岸警備隊 (USCG) と連携してフィリピン沿岸警備隊 (PCG) 等に対する能力向上支援を実施しました。

本件は、4月に行われた日米比首脳会談において合意された「海上保安機関間の連携・協力を通じた海上保安協力を引き続き強化する」趣旨に合致するものです。

1. MCT は、日米の海上保安機関が連携して実施する立入検査官研修 (Boarding Officer Course) に訓練指導員として参加し、PCG 等に対して制圧訓練を実施しました。同研修には、MCT のほか、USCG の招聘により、PCG、マレーシア海上法令執行庁 (Malaysia Maritime Enforcement Agency)、タイ海上警察 (Royal Thai Marine Police) の職員がインストラクターとして参加し、5ヶ国の連携により PCG 及びフィリピン国家警察 (Philippine National Police) の職員に対する能力向上支援を実施しました。
2. 今回のフィリピンに対する能力向上支援は、日米海上保安両機関における共同の取組「SAPPHIRE (サファイア)」の一環としても位置付けられ、USCG の支援プログラムと連携した支援を実施しております。
3. 海上保安庁は、今後も、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していくとともに、インド太平洋地域の海上保安機関の能力向上支援に積極的に取り組んでまいります。

※日米両機関における共同の取組みを「SAPPHIRE (サファイア)」と呼称し、2024 年に実施する取組みを「SAPPHIRE24」と表記しています。

- ・ SAPPHIRE: Solid Alliance for Peace and Prosperity with Humanity and Integrity on the Rule-of-law based Engagement
- ・ 日本語訳: 法の支配の取組における誠実と仁愛に基づいた平和と繁栄のための強固な連携



受け当て身の指導



肘押さえの説明



施錠方法の説明



デブリーフィング



立入検査訓練



集合写真